

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12242

特別陳列事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
中事業	特別陳列事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	前田	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	収蔵資料を広く市民に紹介する。		収蔵資料市民に紹介するため、館蔵資料を中心に春と冬に特別陳列展を開催する。			
事業内容		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
		春季特別陳列展は、館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬季特別陳列展は、小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	新型コロナウイルスの影響により、春季特別陳列展は中止し、夏季と冬季の特別陳列展は実施した。	春は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬には小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	年3回は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬には小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。	年3回は館蔵資料を中心にした展覧会を開催し、冬には小学生の社会科の授業に合わせ展覧会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	1,453	1,437	1,531	0	354	354	387	0	387	0	
伸び率(%)	605.3%	553.2%	5.4%	△100%	△76.9%	0%	9.3%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,692	1,692	1,673	1,752	1,629	3,258	6,594	0	6,594	0
	正規職員以外	557	557	1,054	2,085	2,175	3,071	514	0	514	0
	小計	2,249	2,249	2,727	3,837	3,804	6,329	7,108	0	7,108	0
国庫支出金	1,059	520	765	0	177	137	139	0	139	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	45	33	0	0	0	0	108	0	108	0	
一般財源(税等)	349	884	766	0	177	217	140	0	140	0	
所要人数(人)	正規職員	0.21	0.21	0.21	0.22	0.21	0.42	0.85	0.00	0.85	0.00
	正規職員以外	0.29	0.29	0.33	0.58	0.62	0.86	0.10	0.00	0.10	0.00
主な予算内訳	印刷製本費184千円 展示その他委託料72千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
特別陳列展開館日数		日	目標値	83	83	83	83	83
			実績値	116	89	142		
			達成度(%)	139.8%	107.2%	171.1%	%	%
特別陳列展入館者数		人	目標値	3600	3600	3600	3600	3600
			実績値	7802	3661	3535		
			達成度(%)	216.7%	101.6%	98.2%	%	%
活動指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	本事業は、収蔵資料を元に開催する事業である。また同事業では、小学校の社会科の単元に対応した教育プログラムを用意し、小学校の団体の受け入れを行っており、例年、市内の小学校の大半が授業で来館するなど、学校教育との連携がとれている。
見直し・改善内容	現在の環境でより学習効果が高くなるよう、案内方法の工夫などを検討する。